



古希を過ぎて(その2)

代表取締役 矢作文弘



古希を過ぎて早5か月を迎える。体調、心持ち、よく見ると色々気がつくことがある。いずれにしてもよく気を付けて、病氣と仲良くしていくことが大切であると思う。

世間では今、北朝鮮の問題、また国内においては政治的な問題が色々騒がれている。しかしよく聞くと内容があまりにも情けない話題が多い。その一義的な原因はメディア報道の質の低さだと思う。出来事の事実だけ報道すればよいところを、余計なコメント、当然のように一方的な意見を押し付けてくるのは、公平性に著しく反すると思う。勝手に人の写真を撮ったり尾行したりするのは報道の本来の仕事ではない。一方で、世間もそれを受け入れているのはどうかと思う。

残念ながら、世界各地には収束しない内乱内戦、日本でも子供の健康を脅かす食事の問題、弱者に対する支援等、早急に対応が求められていることはいくらでもある。そうした問題へ提案・対応していくのが政治家の仕事であるが、口先ばかり立派で実行して結果を出しているのは一体何%であるだろうか。政治家の言動と実行した結果をつまびらかに検証していくのが、メディアの仕事に求められているのではないか。

そのような報道を通じて、議員という存在の意義を問うていく、その結果として不必要な議員を削減していくことを今一番の課題と認識し、プライドを持ち正しい報道を行って欲しいと切に願っている次第である。

当社では優秀な女性達も活躍しています。今回は「女性社員特集」として各部門の女性社員に記事を寄稿してもらいました。女性建築士の細やかな配慮ある設計アイデアのコラムは今後連載の予定です。お楽しみに！

「キッチンの使い勝手」

～コンパクトなキッチン 使い勝手の良い配置を～

一級建築士 長代 智恵

広くて、システムキッチンの予算が取れる住宅は、各メーカーのショールームに訪問すれば、アドバイザーの方が、家電収納やゴミ置場も含めてレイアウトを提案してくれます。

しかし、限られたスペースしか取れず、予算もあまり取れない住宅では、私たち設計者が、台所のレイアウトや使い方など、システムキッチンだけでは解決できないご提案もさせて頂く場合があります。

以前設計させて頂いたH邸では、キッチンの広さが3帖位しか設けることが出来ませんでした。その中に、流し台、食器棚、家電などを置かなければなりません。

「高齢の方、お一人での家事」との事でしたので、壁いっぱい流し台ではなく、流し台を165cmのコンパクトな物にして、その横に45cm程度の「食器乾燥機置場+炊飯器収納+ゴミ箱」の機能をもった手作りの収納庫をご提案しました。家事中の動きも少なく整理も出来るキッチンになりました。

キッチンを設計する際、特に忘れられがちなのは「ゴミ箱置場」です。目の付きにくい食器棚の陰などにゴミ袋が露出しているお宅もよく見かけます。



自治体毎に異なりますが、燃えるゴミ、燃えないゴミ、リサイクルゴミ(ビン・カン・ペットボトル・古紙・発砲トレイなど)と分別するものも増え、ゴミ置場に取られるスペースも大きくなっているかと思えます。

実際に我が家では、ペットボトルをスーパーの回収機でエコポイントに交換し、古紙も子供会に出している為、それぞれ1ヶ月分位たまります。

こうした“生活”を私達設計者にありのまま伝えて頂くことで、より良いキッチンが実現できます。

見る角度

総務部 後藤よし子

6年程前から体力作りの為にスポーツジムに通い、エアロ、ダンスの、ヨガと色々なスタジオに参加しているのですが、不思議な事に殆ど全ての方が定位置という物(例えば前から2番目の右から3番目の位置)が有り同じ場所でレッスンを受けています。

インストラクター曰く時には違った場所と言う事で場所を移動してレッスンを受けるといつものレッスンが違ったものを感じ新しい発見が沢山あります。

仕事も同じ事の繰り返しではありますが時には違った角度で物事を考え、何時も新鮮な気持ちで仕事に取り組める様、又年齢に囚われる事なく、公私共々色々な事にチャレンジしていきたいと思えます。

私のおすすめの本

監査部 林かおる

私は本が好きで、月に4~5冊のペースで本を読んでいます。その中で、特におすすめの本を紹介したいと思います。

万城目学という作家をご存知でしょうか？関西を舞台にした話を書く、私が大好きな作家です。私は昨年4月まで7年間大阪で暮らしていました。



大阪で最初に手にした本が万城目学の「プリンセス・トヨミ」でした。大阪城の地下には大阪国という国が存在していて…というお話です。

たまたま大阪城を訪れた私は、現実と物語との区別がつかなくなり、ドキドキワクワクした気持ちになりました。そして“万城目ワールド”と言われる、実在する日常の中に奇想天外な非日常が混ざり込むファンタジーの世界の虜になりました。「鴨川ホルモー」を読んで京都の街を

小さな鬼たちと一緒に進み、「偉大なる、しゅららぼん」では二つに割れた琵琶湖の真ん中を、神の棲む島と言われる竹生島まで走って渡り、「鹿男あおによし」では奈良公園の鹿と一緒に日本を救い、その他にも…。

東京で暮らしている現在も、万城目作品は私を関西のあらゆる所に連れて行ってくれます。関西ならではの奇想天外な世界に浸ってみたいと思った方、ぜひ読んでみてはいかがでしょうか？

耐震工事の助成金(現在一戸あたり30万円上乘せ中)、来年3月末までです！

- ①江戸川区内の自宅で、
- ②昭和56年5月末以前に着工された戸建住宅は、江戸川区の住宅・耐震化助成金制度の対象になります。

区の無料の耐震簡易診断(区の耐震コンサルタントが来てくれます)がありますので、お問い合わせになることをお勧めします。

区役所都市開発部 相談係
(03-5662-0517)

助成内容は下記です。

	助成率	自己負担
耐震簡易診断	無料	無料
改修の設計	80%	目安額 6万円程度
工事	50%	工事金額の 半額

<建替え費用の助成金>

さらに！以下の場合、建替え費用にも351万円までの助成が受けられます。

- ①不燃化特区にある
- ②昭和56年以前の木造戸建てを耐火・準耐火建物に建替える費用

不燃化特区は、南小岩7、8丁目周辺、南小岩南部・東松本付近、平井二丁目付近、松島三丁目地区です。詳しくは下記にご連絡ください。

江戸川区役所都市開発部のまちづくり推進課
(03-5662-6435)

お問い合わせの際、「施工は葛西建設希望」とお伝えいただければ、弊社が施工を担当することもできますので、是非ご検討ください。ご用命をお待ちしております！